

令和5年度第1学年前期「生命科学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	45	54%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	33 (73%)	11 (24%)	1 (2%)	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	17 (38%)	21 (47%)	3 (7%)	4 (9%)	0	4.1
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	21 (47%)	20 (44%)	1 (2%)	3 (7%)	0	4.3
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	21 (47%)	16 (36%)	5 (11%)	3 (7%)	0	4.2
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	25 (56%)	18 (40%)	1 (2%)	1 (2%)	0	4.5
6 授業内容は満足のできるものであった。	25 (56%)	14 (31%)	4 (9%)	1 (2%)	1 (2%)	4.4

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	27 (60%)	13 (29%)	4 (9%)	1 (2%)	0	4.5
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	24 (53%)	15 (33%)	3 (7%)	3 (7%)	0	4.3
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	25 (56%)	14 (31%)	5 (11%)	1 (2%)	0	4.4
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	30 (67%)	12 (27%)	3 (7%)	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	26 (58%)	10 (22%)	5 (11%)	4 (9%)	0	4.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	22 (49%)	16 (36%)	4 (9%)	3 (7%)	0	4.3

令和5年度第1学年前期「情報科学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
83	51	61%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	40 (78%)	9 (18%)	2 (4%)	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	37 (73%)	11 (22%)	2 (4%)	0	1 (2%)	4.6
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	33 (65%)	13 (25%)	3 (6%)	1 (2%)	1 (2%)	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	31 (61%)	14 (27%)	5 (10%)	0	1 (2%)	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	35 (69%)	13 (25%)	2 (4%)	0	1 (2%)	4.6
6 授業内容は満足のできるものであった。	34 (67%)	15 (29%)	1 (2%)	0	1 (2%)	4.6

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	34 (67%)	14 (27%)	3 (6%)	0	0	4.6
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	33 (65%)	17 (33%)	0	0	1 (2%)	4.6
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	34 (67%)	13 (25%)	4 (8%)	0	0	4.6
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	37 (73%)	14 (27%)	0	0	0	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	34 (67%)	16 (31%)	0	0	1 (2%)	4.6
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	32 (63%)	16 (31%)	1 (2%)	1 (2%)	1 (2%)	4.5

令和5年度第1学年前期「心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
83	46	55%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	18 (39%)	17 (37%)	5 (11%)	5 (11%)	1 (2%)	4.0
2 授業内容は理解できるものであった。	33 (72%)	12 (26%)	1 (2%)	0	0	4.7
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	33 (72%)	13 (28%)	0	0	0	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	24 (52%)	19 (41%)	2 (4%)	1 (2%)	0	4.4
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	28 (61%)	17 (37%)	0	0	1 (2%)	4.5
6 授業内容は満足のできるものであった。	32 (70%)	11 (24%)	2 (4%)	0	1 (2%)	4.6

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	40 (87%)	6 (13%)	0	0	0	4.9
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	37 (80%)	8 (17%)	1 (2%)	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	35 (76%)	9 (20%)	1 (2%)	0	1 (2%)	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	37 (80%)	7 (15%)	1 (2%)	1 (2%)	0	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	33 (72%)	10 (22%)	3 (7%)	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	34 (74%)	7 (15%)	5 (11%)	0	0	4.6

令和5年度第1学年前期「法学入門」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
83	58	70%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	28 (48%)	28 (48%)	1 (2%)	1 (2%)	0	4.4
2 授業内容は理解できるものであった。	21 (36%)	24 (41%)	10 (17%)	3 (5%)	0	4.1
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	20 (34%)	19 (33%)	13 (22%)	5 (9%)	1 (2%)	3.9
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	19 (33%)	14 (24%)	18 (31%)	6 (10%)	1 (2%)	3.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	23 (40%)	21 (36%)	11 (19%)	3 (5%)	0	4.1
6 授業内容は満足のできるものであった。	22 (38%)	20 (34%)	10 (17%)	5 (9%)	1 (2%)	4.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	35 (60%)	18 (31%)	3 (5%)	2 (3%)	0	4.5
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	21 (36%)	21 (36%)	14 (24%)	2 (3%)	0	4.1
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	28 (48%)	17 (29%)	9 (16%)	4 (7%)	0	4.2
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	40 (69%)	14 (24%)	3 (5%)	0	1 (2%)	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	25 (43%)	20 (34%)	9 (16%)	2 (3%)	2 (3%)	4.1
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	25 (43%)	20 (34%)	9 (16%)	2 (3%)	2 (3%)	4.1

令和5年度第1学年前期「アカデミックスキルⅠ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
91	45	49%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	36 (80%)	8 (18%)	1 (2%)	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	27 (60%)	14 (31%)	4 (9%)	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	21 (47%)	20 (44%)	3 (7%)	1 (2%)	0	4.4
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	27 (60%)	15 (33%)	3 (7%)	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	22 (49%)	21 (47%)	2 (4%)	0	0	4.4
6 授業内容は満足のできるものであった。	22 (49%)	20 (44%)	3 (7%)	0	0	4.4

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	19 (42%)	21 (47%)	3 (7%)	2 (4%)	0	4.3
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	26 (58%)	17 (38%)	2 (4%)	0	0	4.5
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	28 (62%)	13 (29%)	4 (9%)	0	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	32 (71%)	10 (22%)	3 (7%)	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	23 (51%)	17 (38%)	4 (9%)	1 (2%)	0	4.4
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	25 (56%)	15 (33%)	5 (11%)	0	0	4.4

令和5年度第1学年前期「英語Ⅰ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
82	44	54%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	39 (89%)	5 (11%)	0	0	0	4.9
2 授業内容は理解できるものであった。	40 (91%)	4 (9%)	0	0	0	4.9
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	37 (84%)	7 (16%)	0	0	0	4.8
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	35 (80%)	6 (14%)	2 (5%)	1 (2%)	0	4.7
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	39 (89%)	5 (11%)	0	0	0	4.9
6 授業内容は満足のできるものであった。	39 (89%)	5 (11%)	0	0	0	4.9

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	40 (91%)	4 (9%)	0	0	0	4.9
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	38 (86%)	6 (14%)	0	0	0	4.9
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	40 (91%)	3 (7%)	0	1 (2%)	0	4.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	35 (80%)	8 (18%)	1 (2%)	0	0	4.8
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	39 (89%)	4 (9%)	1 (2%)	0	0	4.9
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	40 (91%)	4 (9%)	0	0	0	4.9

令和5年度第1学年前期「形態機能学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	36	41%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	20 (56%)	14 (39%)	1 (3%)	1 (3%)	0	4.5
2 授業内容は理解できるものであった。	15 (42%)	16 (44%)	4 (11%)	1 (3%)	0	4.2
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	18 (50%)	16 (44%)	2 (6%)	0	0	4.4
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	17 (47%)	14 (39%)	5 (14%)	0	0	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	19 (53%)	16 (44%)	1 (3%)	0	0	4.5
6 授業内容は満足のできるものであった。	16 (44%)	18 (50%)	2 (6%)	0	0	4.4

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	19 (53%)	15 (42%)	2 (6%)	0	0	4.5
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	17 (47%)	17 (47%)	2 (6%)	0	0	4.4
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	21 (58%)	13 (36%)	2 (6%)	0	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	28 (78%)	7 (19%)	1 (3%)	0	0	4.8
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16 (44%)	15 (42%)	5 (14%)	0	0	4.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	17 (47%)	14 (39%)	5 (14%)	0	0	4.3

令和5年度第1学年前期「看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
92	62	67%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	55 (89%)	7 (11%)	0	0	0	4.9
2 授業内容は理解できるものであった。	46 (74%)	16 (26%)	0	0	0	4.7
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	46 (74%)	14 (23%)	1 (2%)	1 (2%)	0	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	50 (81%)	12 (19%)	0	0	0	4.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	51 (82%)	11 (18%)	0	0	0	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	52 (84%)	10 (16%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	41 (66%)	18 (29%)	3 (5%)	0	0	4.6
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	50 (81%)	11 (18%)	1 (2%)	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	50 (81%)	12 (19%)	0	0	0	4.8
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	53 (85%)	9 (15%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	51 (82%)	8 (13%)	3 (5%)	0	0	4.8
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	52 (84%)	9 (15%)	1 (2%)	0	0	4.8

令和5年度第1学年前期「生体の化学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
8	3	38%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0

令和5年度第1学年前期「情報リテラシー入門」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
16	5	31%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	3 (60%)	2 (40%)	0	0	0	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5 (100%)	0	0	0	0	5.0

令和5年度第1学年前期「文学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
8	1	13%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

令和5年度第1学年前期「社会学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
8	3	38%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	13 (65%)	7 (35%)	0	0	0	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	12 (60%)	7 (35%)	1 (5%)	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	17 (85%)	2 (10%)	1 (5%)	0	0	4.8
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	18 (90%)	2 (10%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	18 (90%)	2 (10%)	0	0	0	4.9

令和5年度第1学年前期「国際関係論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
14	12	86%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
6 授業内容は満足のできるものであった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	12 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	12 (100%)	0	0	0	0	5.0

令和5年度第1学年前期「医療と保健の歴史」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
7	3	43%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0	0	4.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0	0	4.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (33%)	0	2 (67%)	0	0	3.7
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0	0	4.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0	0	4.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3

令和5年度第1学年前期「人間理解のための文章購読」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
5	1	20%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

令和5年度第1学年前期「スペイン語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
8	3	38%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (33%)	1 (33%)	0	1 (33%)	0	3.7
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0	0	4.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (33%)	1 (33%)	0	1 (33%)	0	3.7

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (67%)	0	0	1 (33%)	0	4.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0	0	4.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

全くなかった 2名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

IV. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型 (Zoom) 授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

全くなかった 3名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

令和5年度第1学年前期「韓国語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
33	22	67%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	20 (91%)	2 (9%)	0	0	0	4.9
2 授業内容は理解できるものであった。	19 (86%)	2 (9%)	1 (5%)	0	0	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	20 (91%)	2 (9%)	0	0	0	4.9
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	19 (86%)	2 (9%)	0	1 (5%)	0	4.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	19 (86%)	3 (14%)	0	0	0	4.9
6 授業内容は満足のできるものであった。	20 (91%)	2 (9%)	0	0	0	4.9

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	19 (86%)	1 (5%)	2 (9%)	0	0	4.8
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	19 (86%)	1 (5%)	2 (9%)	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	21 (95%)	0	1 (5%)	0	0	4.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	21 (95%)	1 (5%)	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	19 (86%)	2 (9%)	1 (5%)	0	0	4.8
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	19 (86%)	3 (14%)	0	0	0	4.9

令和5年度第1学年前期「中国語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
22	8	36%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9
2 授業内容は理解できるものであった。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5 (63%)	3 (38%)	0	0	0	4.6
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5 (63%)	2 (25%)	1 (13%)	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	6 (75%)	2 (25%)	0	0	0	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	8 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	8 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	8 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	8 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	6 (75%)	2 (25%)	0	0	0	4.8
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9

令和5年度第1学年前期「医療人類学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
20	7	35%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
2 授業内容は理解できるものであった。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (43%)	3 (43%)	1 (14%)	0	0	4.3
6 授業内容は満足のできるものであった。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	0	0	4.4
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (43%)	3 (43%)	1 (14%)	0	0	4.3
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4

令和5年度第1学年前期「哲学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
8	3	38%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	5.0

令和5年度第1学年前期「生命倫理」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
10	2	20%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	0	2 (100%)	0	0	0	4.0
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (50%)	0	1 (50%)	0	0	4.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (50%)	0	1 (50%)	0	0	4.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	0	2 (100%)	0	0	0	4.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	0	2 (100%)	0	0	0	4.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

令和5年度第1学年前期「看護基礎実習Ⅰ(対象理解)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	26	30%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 体調管理を行い、実習に臨んだ。	24 (92%)	1 (4%)	1 (4%)	0	0	4.9
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った	25 (96%)	1 (4%)	0	0	0	5.0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
8 課された実習記録や課題の量は適切であった	22 (85%)	4 (15%)	0	0	0	4.8
9 看護への興味や関心が高まった	25 (96%)	1 (4%)	0	0	0	5.0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9

III. 指導体制・学習環境について

	5	4	3	2	1	平均
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
13 教員と実習施設の連携が図られていた	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.8
14 実習に必要な資料や情報が入手できた	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた	24 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
16 カンファレンスや学習の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた	25 (96%)	1 (4%)	0	0	0	5.0

令和5年度第1学年前期「老年基礎実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	38	44%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 体調管理を行い、実習に臨んだ。	36 (95%)	2 (5%)	0	0	0	4.9
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ	36 (95%)	2 (5%)	0	0	0	4.9
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った	32 (84%)	6 (16%)	0	0	0	4.8
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした	29 (76%)	8 (21%)	1 (3%)	0	0	4.7

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた	33 (87%)	5 (13%)	0	0	0	4.9
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった	35 (92%)	3 (8%)	0	0	0	4.9
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった	32 (84%)	5 (13%)	1 (3%)	0	0	4.8
8 課された実習記録や課題の量は適切であった	28 (74%)	9 (24%)	1 (3%)	0	0	4.7
9 看護への興味や関心が高まった	32 (84%)	6 (16%)	0	0	0	4.8
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	33 (87%)	5 (13%)	0	0	0	4.9

III. 指導体制・学習環境について

	5	4	3	2	1	平均
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った	31 (82%)	7 (18%)	0	0	0	4.8
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した	29 (76%)	9 (24%)	0	0	0	4.8
13 教員と実習施設の連携が図られていた	29 (76%)	8 (21%)	1 (3%)	0	0	4.7
14 実習に必要な資料や情報が入手できた	32 (84%)	6 (16%)	0	0	0	4.8
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた	34 (89%)	4 (11%)	0	0	0	4.9
16 カンファレンスや学習の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた	36 (95%)	2 (5%)	0	0	0	4.9

令和5年度第1学年前期「看護技術論Ⅰ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
89	57	64%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	41 (72%)	15 (26%)	0	1 (2%)	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	33 (58%)	20 (35%)	3 (5%)	1 (2%)	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	34 (60%)	17 (30%)	5 (9%)	0	1 (2%)	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	38 (67%)	15 (26%)	4 (7%)	0	0	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	36 (63%)	20 (35%)	1 (2%)	0	0	4.6
6 授業内容は満足のできるものであった。	34 (60%)	20 (35%)	2 (4%)	1 (2%)	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	30 (53%)	23 (40%)	3 (5%)	0	1 (2%)	4.4
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	33 (58%)	21 (37%)	2 (4%)	1 (2%)	0	4.5
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	35 (61%)	19 (33%)	3 (5%)	0	0	4.6
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	40 (70%)	16 (28%)	1 (2%)	0	0	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	30 (53%)	20 (35%)	5 (9%)	0	2 (4%)	4.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	31 (54%)	22 (39%)	3 (5%)	1 (2%)	0	4.5

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	生命と地球環境		
回答者数	6名		
履修者数	15名	回答率	40%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	4 (67%)	0	2 (33%)	0	0	4.3
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (67%)	1 (17%)	1 (17%)	0	0	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (33%)	4 (67%)	0	0	0	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
6 授業内容は満足のできるものであった。	3 (50%)	3 (50%)	0	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (67%)	1 (17%)	1 (17%)	0	0	4.5
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	医療のための物理学				
回答者数	2名				
履修者数	4名				
			回答率	50%	

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	発達心理学		
回答者数	22 名		
履修者数	84 名	回答率	26%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	14 (64%)	7 (32%)	0	1 (5%)	0	4.5
2 授業内容は理解できるものであった。	13 (59%)	6 (27%)	3 (14%)	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	14 (64%)	7 (32%)	1 (5%)	0	0	4.6
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	11 (50%)	7 (32%)	3 (14%)	1 (5%)	0	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	11 (50%)	8 (36%)	3 (14%)	0	0	4.4
6 授業内容は満足のできるものであった。	12 (55%)	8 (36%)	2 (9%)	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	16 (73%)	6 (27%)	0	0	0	4.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	16 (73%)	6 (27%)	0	0	0	4.7
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	11 (50%)	8 (36%)	1 (5%)	2 (9%)	0	4.3
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	16 (73%)	6 (27%)	0	0	0	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	14 (64%)	8 (36%)	0	0	0	4.6
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	13 (59%)	8 (36%)	1 (5%)	0	0	4.5

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	多文化共生論		
回答者数	4 名		
履修者数	5 名	回答率	80%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0

III. オンデマンド授業について 13 ~ 14 回答なし

IV. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型 (Zoom) 授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

いつもあった	1 名
ときどきあった	2 名
ほとんどなかった	1 名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

授業開始が遅れた	3 名
学生および教員の反応が遅く、確認が必要だった	1 名
通信が途切れた	1 名
話が伸びることがあった	1 名

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	フランス語		
回答者数	1 名		
履修者数	5 名	回答率	20%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	0	0	1 (100%)	0	0	3.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	ジェンダー論	
回答者数	3名	
履修者数	42名	回答率 7%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	0	2 (67%)	1 (33%)	0	0	3.7
2 授業内容は理解できるものであった。	0	2 (67%)	0	1 (33%)	0	3.3
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	0	2 (67%)	0	1 (33%)	0	3.3
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	0	0	2 (67%)	1 (33%)	0	2.7
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	0	1 (33%)	2 (67%)	0	0	3.3
6 授業内容は満足のできるものであった。	0	1 (33%)	2 (67%)	0	0	3.3

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	0	2 (67%)	1 (33%)	0	0	3.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	0	1 (33%)	2 (67%)	0	0	3.3
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	0	2 (67%)	1 (33%)	0	0	3.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0	0	4.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	0	1 (33%)	2 (67%)	0	0	3.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	0	2 (67%)	1 (33%)	0	0	3.7

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	アカデミックスキルⅡ（基礎ゼミ）				
回答者数	37 名				
履修者数	86 名	回答率	43%		

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	21 (57%)	13 (35%)	1 (3%)	1 (3%)	1 (3%)	4.4
2 授業内容は理解できるものであった。	15 (41%)	17 (46%)	2 (5%)	2 (5%)	1 (3%)	4.2
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	16 (43%)	13 (35%)	5 (14%)	2 (5%)	1 (3%)	4.1
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	28 (76%)	5 (14%)	2 (5%)	1 (3%)	1 (3%)	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	19 (51%)	16 (43%)	2 (5%)	0	0	4.5
6 授業内容は満足のできるものであった。	13 (35%)	16 (43%)	7 (19%)	0	1 (3%)	4.1

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	18 (49%)	16 (43%)	3 (8%)	0	0	4.4
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	12 (32%)	16 (43%)	3 (8%)	4 (11%)	2 (5%)	3.9
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	11 (30%)	15 (41%)	9 (24%)	1 (3%)	1 (3%)	3.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	25 (68%)	11 (30%)	1 (3%)	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	14 (38%)	16 (43%)	5 (14%)	1 (3%)	1 (3%)	4.1
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	13 (35%)	14 (38%)	4 (11%)	5 (14%)	1 (3%)	3.9

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	統計学				
回答者数	6名				
履修者数	84名				
			回答率	7%	

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	3 (50%)	1 (17%)	1 (17%)	1 (17%)	0	4.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (50%)	2 (33%)	1 (17%)	0	0	4.3
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	3 (50%)	1 (17%)	2 (33%)	0	0	4.2
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
6 授業内容は満足のできるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	英語Ⅱ（コミュニケーション）		
回答者数	7名		
履修者数	86名	回答率	8%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5 (71%)	1 (14%)	1 (14%)	0	0	4.6
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5 (71%)	1 (14%)	1 (14%)	0	0	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
6 授業内容は満足のできるものであった。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	7 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	0	0	4.4

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	病理学				
回答者数	21 名				
履修者数	84 名				
	回答率				25%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	14 (67%)	7 (33%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	13 (62%)	8 (38%)	0	0	0	4.6
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	13 (62%)	5 (24%)	3 (14%)	0	0	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	11 (52%)	6 (29%)	4 (19%)	0	0	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	11 (52%)	10 (48%)	0	0	0	4.5
6 授業内容は満足のできるものであった。	11 (52%)	10 (48%)	0	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	12 (57%)	9 (43%)	0	0	0	4.6
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	14 (67%)	6 (29%)	1 (5%)	0	0	4.6
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	15 (71%)	5 (24%)	1 (5%)	0	0	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	13 (62%)	8 (38%)	0	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	12 (57%)	8 (38%)	1 (5%)	0	0	4.5
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	13 (62%)	7 (33%)	1 (5%)	0	0	4.6

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	栄養学					
回答者数	18 名					
履修者数	84 名			回答率	21%	

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	9 (50%)	6 (33%)	1 (6%)	1 (6%)	1 (6%)	4.2
2 授業内容は理解できるものであった。	15 (83%)	3 (17%)	0	0	0	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	16 (89%)	2 (11%)	0	0	0	4.9
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	12 (67%)	5 (28%)	1 (6%)	0	0	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	14 (78%)	4 (22%)	0	0	0	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	14 (78%)	3 (17%)	1 (6%)	0	0	4.7

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	15 (83%)	3 (17%)	0	0	0	4.8
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	15 (83%)	3 (17%)	0	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	15 (83%)	3 (17%)	0	0	0	4.8
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	16 (89%)	2 (11%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	13 (72%)	5 (28%)	0	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	15 (83%)	3 (17%)	0	0	0	4.8

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	社会福祉・社会保障		
回答者数	8名		
履修者数	85名	回答率	9%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (63%)	3 (38%)	0	0	0	4.6
2 授業内容は理解できるものであった。	3 (38%)	4 (50%)	0	1 (13%)	0	4.1
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (25%)	4 (50%)	1 (13%)	1 (13%)	0	3.9
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	3 (38%)	2 (25%)	1 (13%)	2 (25%)	0	3.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (38%)	4 (50%)	1 (13%)	0	0	4.2
6 授業内容は満足のできるものであった。	3 (38%)	4 (50%)	0	1 (13%)	0	4.1

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (50%)	2 (25%)	1 (13%)	1 (13%)	0	4.1
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (38%)	4 (50%)	0	1 (13%)	0	4.1
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (38%)	3 (38%)	1 (13%)	0	1 (13%)	3.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (50%)	3 (38%)	1 (13%)	0	0	4.4
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3 (38%)	4 (50%)	1 (13%)	0	0	4.2

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	医療概論		
回答者数	11 名		
履修者数	72 名	回答率	15%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
2 授業内容は理解できるものであった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
6 授業内容は満足のできるものであった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	9 (82%)	2 (18%)	0	0	0	4.8
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	9 (82%)	2 (18%)	0	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	看護倫理Ⅰ（基礎）		
回答者数	21名		
履修者数	85名	回答率	25%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	15 (71%)	5 (24%)	1 (5%)	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	12 (57%)	7 (33%)	2 (10%)	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	13 (62%)	5 (24%)	3 (14%)	0	0	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	13 (62%)	5 (24%)	3 (14%)	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	14 (67%)	5 (24%)	2 (10%)	0	0	4.6
6 授業内容は満足のできるものであった。	13 (62%)	5 (24%)	3 (14%)	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	12 (57%)	8 (38%)	1 (5%)	0	0	4.5
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	11 (52%)	8 (38%)	2 (10%)	0	0	4.4
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	13 (62%)	6 (29%)	2 (10%)	0	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	14 (67%)	5 (24%)	2 (10%)	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	13 (62%)	6 (29%)	2 (10%)	0	0	4.5
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	12 (57%)	7 (33%)	2 (10%)	0	0	4.5

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	看護対象論				
回答者数	7名				
履修者数	91名	回答率	8%		

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (29%)	4 (57%)	1 (14%)	0	0	4.1
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (29%)	5 (71%)	0	0	0	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4
6 授業内容は満足のできるものであった。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (57%)	2 (29%)	0	1 (14%)	0	4.3
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	0	0	4.4
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	0	0	4.4
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3 (43%)	3 (43%)	1 (14%)	0	0	4.3
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (57%)	2 (29%)	0	1 (14%)	0	4.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (57%)	1 (14%)	1 (14%)	1 (14%)	0	4.1

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ときどきあった 4名

ほとんどなかった 2名

14 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた 1名

何度も聴き直す必要があった 3名

IV. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型 (Zoom) 授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

全くなかった 7名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

なし

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	コミュニケーション論					
回答者数	19 名					
履修者数	84 名			回答率	23%	

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	14 (74%)	5 (26%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	13 (68%)	6 (32%)	0	0	0	4.7
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	12 (63%)	6 (32%)	1 (5%)	0	0	4.6
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	10 (53%)	8 (42%)	1 (5%)	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	12 (63%)	7 (37%)	0	0	0	4.6
6 授業内容は満足のできるものであった。	13 (68%)	6 (32%)	0	0	0	4.7

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	15 (79%)	4 (21%)	0	0	0	4.8
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	15 (79%)	4 (21%)	0	0	0	4.8
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	14 (74%)	4 (21%)	1 (5%)	0	0	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	16 (84%)	3 (16%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	14 (74%)	5 (26%)	0	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	15 (79%)	3 (16%)	1 (5%)	0	0	4.7

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	地域・在宅看護論Ⅰ（対象とケアシステムの理解）				
回答者数	8名				
履修者数	88名		回答率	9%	

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	7 (88%)	0	1 (13%)	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	5 (63%)	2 (25%)	1 (13%)	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (50%)	2 (25%)	2 (25%)	0	0	4.2
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4 (50%)	2 (25%)	2 (25%)	0	0	4.2
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (50%)	2 (25%)	2 (25%)	0	0	4.2
6 授業内容は満足のできるものであった。	4 (50%)	2 (25%)	2 (25%)	0	0	4.2

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5 (63%)	3 (38%)	0	0	0	4.6
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (50%)	3 (38%)	1 (13%)	0	0	4.4
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (50%)	2 (25%)	2 (25%)	0	0	4.2
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5 (63%)	2 (25%)	1 (13%)	0	0	4.5
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	6 (75%)	1 (13%)	1 (13%)	0	0	4.6
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (50%)	4 (50%)	0	0	0	4.5

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	看護技術論Ⅱ（日常生活援助技術）				
回答者数	6名				
履修者数	84名	回答率	7%		

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	国際保健論		
回答者数	49 名		
履修者数	84 名	回答率	58%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	41 (84%)	8 (16%)	0	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	32 (65%)	16 (33%)	1 (2%)	0	0	4.6
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	33 (67%)	11 (22%)	4 (8%)	1 (2%)	0	4.6
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	24 (49%)	18 (37%)	5 (10%)	2 (4%)	0	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	30 (61%)	19 (39%)	0	0	0	4.6
6 授業内容は満足のできるものであった。	31 (63%)	17 (35%)	1 (2%)	0	0	4.6

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	25 (51%)	20 (41%)	3 (6%)	1 (2%)	0	4.4
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	25 (51%)	20 (41%)	4 (8%)	0	0	4.4
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	31 (63%)	12 (24%)	6 (12%)	0	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	34 (69%)	12 (24%)	3 (6%)	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	25 (51%)	10 (20%)	12 (24%)	2 (4%)	0	4.2
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	29 (59%)	16 (33%)	4 (8%)	0	0	4.5

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	ドイツ語				
回答者数	2名				
履修者数	18名	回答率	11%		

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	生命倫理（後期）		
回答者数	1 名		
履修者数	10 名	回答率	10%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0